

2025年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A	： たいへんよい
B	： よい
C	： 一部検討を要する
D	： 改善を要する

保育所・こども園名 【 戸田駅前保育所 】

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	A
評価の根拠 園の方針に基づき計画的に保育を実践し、食育や自然体験を通して主体性を育み、安全に配慮した保育に努めた。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A	A
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	A
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	A
評価の根拠 職員間で子どもの様子を共有し連携を図り、興味関心や発達に応じた遊びや活動を工夫して主体的な保育に取り組んだ。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 体調確認や視診を徹底し、感染状況に応じた対策と午睡時の観察を行い、安全と健康管理に努めた。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	B	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	B
評価の根拠 行事はねらいに沿い成長につながったが、負担や保護者の意見も踏まえ、内容の見直しや柔軟な検討が必要と感じた。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	B
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 食育活動や調理との関わりを通して食への関心を高め、食材体験や交流を通じて食べる意欲や感謝の心を育んだ。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	A
評価の根拠 会議体制の見直しで効率化が進み共有も充実したが、役割意識や情報伝達の徹底など更なる改善が必要と感じた。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠 避難訓練や安全指導を計画的に実施し、事故共有や見直しを行いながら安全管理の向上に努めた。		
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	B
② 研修報告を園内で実施している	A	B
評価の根拠 研修参加や報告共有を通して学びを深め、園内研修を繰り返し行いながら保育実践の向上につなげた。		
9. 情報管理について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠 個人情報の取扱いに十分配慮し、書類は適切に管理・保管しながら情報管理の徹底に努めた。		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
評価の根拠 掲示板の改善により活動の様子を分かりやすく掲示でき、保護者への情報発信や共有がしやすくなった。		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠 送迎時や面談、保育参加を通して保護者との連携を深め、子どもの成長や日々の保育の様子を共有した。		
12. 開かれた園づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	B
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 子育て講座を実施するなど地域と連携を図りながら情報共有に努め、子どもの発達や健康面の支援体制の充実を図った。		
13. 情報発信について		
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている	A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている	B	B
評価の根拠 コドモンを活用した子どもの様子や情報発信を行っているが、地域への発信の周知に力をいれていきたい		
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉かけや関わりをしている	A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている	A	A
評価の根拠 人権擁護の研修や振り返りを通して意識を高め、子どもや保護者に配慮した適切な関わりに努めた。		
15. 総括		
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。		
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点 子どもたちの主体性を大切に保育を意識し、サークルタイムを通して子どもの意見や「やりたい」という思いを活動に取り入れたことで、自主的な遊びや活動が増え充実した。研修で得た学びを手作り玩具や遊びの環境づくりに活かし、科学遊びやお化け屋敷など興味関心を深める活動にもつながった。日々の振り返りや相談を通して職員間の連携も図られ、子どもとの信頼関係もより深まったと感じている。		
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 業務の効率化や時間の使い方を見直し、計画的に業務を進められるよう改善していく必要がある。また、複数担任間のコミュニケーションや報連相の徹底、危機管理意識の共有を図り、職員同士が協力・分担しながら保育を進められる体制づくりが課題である。さらに子どもの主体性を大切にしながら、興味を持ちにくい子への関わりや環境構成を工夫し、クラスの実態に合った活動や室内での探究的な遊びの充実を図っていきたい。		